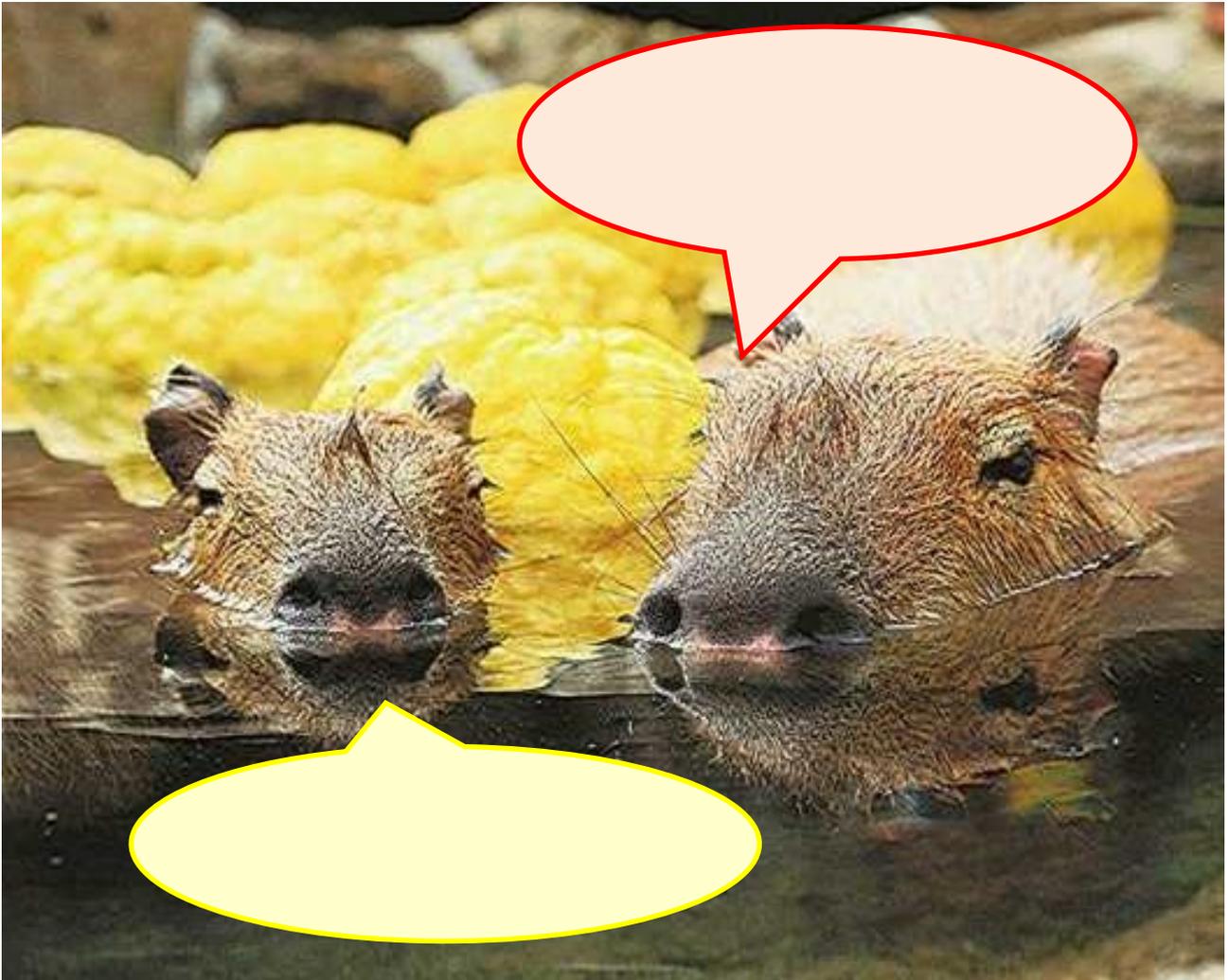


年 組 名前

2020年11月24日付



※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問1：カピバラは何をしていますか。

問2：カピバラはどんなことを話しているのか想像して、吹き出しに書きましょう。

通風筒

◇：静岡県伊東市の「伊豆シャボテン動物公園」

で、冬の風物詩「カピバラの露天風呂」が始まり、来場者の目を楽しませてくれる写真。◇：一九八二年から続く人気のイベント。展示場の掃除の際にできた小さな湯だまりに、気持ちよさげに脚

をつけるカピバラたちの姿に飼育員が気付いたことがきっかけだった。

◇：露天風呂は、来年四月四日まで平日は一日一回、土日曜と祝日は二回実施する。湯気の中、カピバラがのんびりとくつろぐ様子に、訪れた人からは「かわいい」との声がしきり。

【活用にあって】

「大人の人に記事を読んでもらって考えましょう」と書いてありますが、これがなかなか難しいですね。

「風物詩」「露天風呂」「しきり」などは、子どもたちにとって容易に意味がつかめない言葉です。どう言い換えるかですね。聞く力を付けるには、大人がどう話すかにかかっていると言っても過言ではありません。

面倒でも、大人の人が国語辞典を引くことです。「冬の風物詩～」なら、「毎年冬になると、カピバラが家の外にある風呂に入るそうです。みんなそれを見て冬だなあと思います」のように分かりやすくします。一手間かけることが大切です。

解答例

問1：(露天)風呂に入っている。

問2：「いい湯だね」「ほんと、いい湯だね」

「ぬくぬくして、いいね」「体があつたまるね」

など会話になっているといいですね。